

東京新聞

中日新聞東京本社
東京都千代田区幸町二丁目1番4号
〒100-8505 電話 03(6910)2211

貸ビル・フーズ事業・保険代理業
雨宮商事株式会社
141 雨宮ビル
03-3342-0141

読者とともに
紙面へのご意見
お問い合わせは
TEL 03-6910-2201
土日祝日除く 9:30~17:30
FAX 03-3595-6935
TOKYO Web
www.tokyo-np.co.jp

政府広報 | 内閣官房

2021年の
祝日が
移動します

原発処理10年で13兆円

福島第一 国民負担 今後も

東京電力福島第一原発事故から十年間で、廃炉作業や被災者への損害賠償、汚染地域の除染といった事故処理にかかった費用は少なくとも一三・三兆円に上ることが本紙の取材で分かった。政府は処理費を総額二・五兆円で見込むが、廃炉作業などが難航し、想定を上回る可能性が濃厚。賠償費用などは国が立て替えた後、電気料金や税金をもとにした資金から少しずつ「返済」されていく。こうした国民負担が今後数十年は続くことみられる。

膨らみ続ける 福島第一原発の事故処理費

合計	13.3兆円	累計支出額	21.5兆円	見込み額	5.6兆円
廃炉	1.5兆円	8兆円	支出増大はこれから。溶融核燃料(デブリ)取り出しは始まっていない		
賠償	7兆円	7.9兆円	日弁連は十分に請求できていない被災者も多いと指摘している		
除染(*)	4.8兆円	5.6兆円	見込み額に含まない費用も多く、実質的に5.6兆円を超える見通し		

※原賠補償法に基づく補償金1889億円を除く

東電や政府によると、政府有識者会議が二〇一六年に示した見込み額二・五兆円のうち、これまで廃炉に一・五兆円、賠償に七兆円、汚染土壌を取り除く除染に四・八兆円が使われた。廃炉には想定の一割近く、賠償と除染には八割超が支出された計算だ。これらの費用のうち、廃炉については東電が自社の利益から拠出する。賠償と除染は国債などで立て替えた上で、東電を含む電力会社などが年に約二千億円ずつ国庫に納める。さらに電気料金に上乗せされる税金も「返済」に充てる。東電の株式売却して除染費用を捻出する計画もある。単純計算すると、「完済」には今後三十年程度かかる。しかし処理費が見込み通りの金額や期間で収まる保証はない。廃炉はあと二十年以上以内で作業を終える計画だが、溶融核燃料(デブリ)の取り出しという最も難しい工程が始まっておらず、長期化する懸念がある。

日弁連は、賠償請求が十分な被災者もいるとして、潜在的な賠償額が見込み額(七・九兆円)を超える可能性を指摘。除染についても、帰還困難区域の作業など見込み額(中間貯蔵施設を含め五・六兆円)に含まれていない部分が多く、実質的には五・六兆円を超える見通しだ。

地域状況 国内感染者数 国内初の母子感染 客足戻るか店側不安

最新情報を紙面とウェブで

あらためて 感染予防

新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言が、二十二日に全面解除された。しかし、感染拡大は収まっていない。首都圏の一都三県の飲食店への時短要請は一時間緩和されたが、専門家は「引き続き食時は注意が必要だ」と呼び掛ける。無症状の感染者がいることを前提に、東京医療保健大学の菅原えりさ教授(感染制御学)は「できる

東京の感染者187人

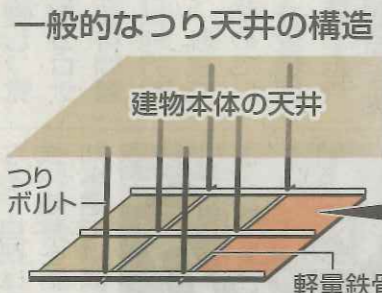
(都発表 速報値)	15日(月)	22日(月)
感染者数	175人	187人
検査件数	8190件(12日)	8433件(19日)
入院・療養調整中	266人	318人
自宅療養	601人	573人
確保病床使用率(入院者数)	25%(1270人)	27%(1372人)
重症者用病床使用率(重症者数)	13%(42人)	14%(47人)
陽性率(1週間平均)	3.5%(14日)	3.7%(21日)

神奈川 56人 埼玉 60人 千葉 97人

落ちてても安全な天井材

震災機に不屈の開発

都の企業とSDGs Sustainable Development Goals



見た目も重さも、普通の段ボールと変わらない。ただ、指で押すと予想外に硬く、断面を見るとアルミ箔が入っている。この段ボールは、音楽ホールや商業施設などに設置する「つり天井」に張る建築資材。内装を手掛ける「日商インターライフ」(東京都荒川区)が二〇一五年から、段ボール製造会社「山田ダンボール」(中央区)と開発を進めている。開発のきっかけは東日本大震災だった。国土交通省によると、震災では二千人以上のつり天井が落下。五人が死亡、七十人以上が負傷した。首都圏では、九段会館(千代田区)やミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市)などの天井が落ちた。つり天井には石膏ボードが使われることが多い。



開発中の段ボールの天井材を紹介する日商インターライフの森信義さん(東京都荒川区で) (市川和宏撮影)

「人の命を守るはずの建築物で、逆に命を奪われるなんて」。衝撃を受けた日商インターライフ社員の森信義さん(モト)は、落下しても安全な軽い天井板の素材を探し始めた。社内からは「需要があるのか」と反対された。それでも森さんは一人を取り組み、山田ダンボールが手掛ける建築資材用の燃えにくい段ボールに行き着いた。森さんの熱意は社内を動かし、開発のためのプロジェクトチームができた。開発中の段ボールは、一平方メートルあたりの重さが石膏ボードの十分の一の八百四十g、厚さは三分の一の四mm。アルミ箔が湿気を防ぎ、燃えにくい。法律で二段階ある建材の防火性能の二番目にあたる「準不燃」の認定を受けた。防火性能がより高い「不燃」の認定を取るため改良を重ねている。商品化できれば、ショッピングモールや銀行などでの使用を想定している。森さんの思いは、強靱なインフラ構築を目指すSDGs(持続可能な開発目標)の目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」に通じる。「建物の役割は自然災害などから身を守ることが第一。安心して暮らせる建物を提供していきたい」(畑間香織)

平和の俳句 東日本大震災10年 椀の中南部若布やおかわりす

谷川 茂子(66) 愛知県幸田町

「(い)と(せ)い(こ)く(二)陸(の)わか(め)の(さ)ざ(き)に(舌)を(喜)ば(せ)る。その(豊)かな(自)然(を)称(え)、(自)然(で)な(い)も(の)が(あ)ま(り)に(多)い(今)を(実)感(す)る。」

2021.3.23

ニュースピックアップ 2021.3.23

2 南海地震災害ごみ3億ト

南海トラフ巨大地震が起きた際に発生する災害ごみは、37都府県で推計約3億ト。東日本大震災の10倍。

24 五輪、多様性社会目指す

東京五輪・パラリンピック組織委員会は「東京宣言」と題した活動で、大会を機に多様性社会を目指す。

25 比女性を抜き打ち調査

「ニチイ学館」がフィリピン人女性たちの従業員寮約20カ所を抜き打ちで一斉調査していたことが判明。

社説 海外客見送り 五輪何のため、説明を

特報 先行解除の栃木のいま

総合 ニュースあなた発

社説・発言 困窮・将棋

政治経済 コロナ検証

国際 暮らし

小説 サブカルチャー

10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

地 社 証 特 ス メ 地

本社の新聞編集はすべて再生可能エネルギーの電力で賄われています。